

# 東北町議会だより

## 第8号

発行 東北町議会  
編集 東北町議会広報  
特別委員会  
電話 0176-56-3111  
内線 312  
住所 東北町上北南  
四丁目32-484



4 / 20 北海道JA音更にて  
長いも洗淨選別施設先進地視察（産業建設常任委員会）

### 主な内容

- ・主たる行政報告…………… 2P
- ・3月定例会で審議された議案…………… 6P
- ・一般質問…………… 7P
- ・各種委員会及び協議会の活動…………… 12P
- ・委員会報告…………… 14P
- ・自治功勞で表彰…………… 16P

# 3月定例会 行政報告



町長 竹内 亮一

## 新年祝賀会・ 消防団出初式開催 総務課関係

平成19年新年祝賀会が1月5日、町民文化センターに於いて、一般町民及び有識者の方々約200人の出席を頂いて、盛大に開催され、はじめに出席者全員で町民憲章の唱和と町民歌の斉唱をし、年頭の挨拶の後に祝宴に入り、出席された方々のお互いの抱負や新町の展望等を語り合い、交流を深めました。

1月6日には、南総合運動公園で、東北町消防団出初式が行われ、団員や消防署員、婦人防火クラブ員ら320人、ポンプ車など18台が参加し、堂々の分列行進を行ったほか、勇壮なまとい振りを披露し、出席者から大きな拍手が送ら

れました。

去る19年1月8日にお亡くなりになった蛭名文雄さん(81)が、長年の消防活動の功績が認められ「瑞宝双光章」を受章されました。蛭名さんは、昭和21年に消防団員となり、昭和45年から昭和53年までの8年10カ月、旧上北町5代消防団長、昭和54年から昭和60年までの6年間、中部上北消防署の4代消防長として長年ご活躍されました。ご本人、家族は勿論のこと、東北町にとっても大変名譽なことであり、心からお祝い申し上げますと同時にご冥福をお祈り申し上げます。

## 整備事業順調に進む 企画課関係

今年度は「地区集会施設整備事業」として、栄町と新町の2地区を、工期19年2月28日までとして進めてまいりましたが、栄町地区は1月12日に完成し、1月23日から供用開始されており、新町地区は2月16日完成し2月22日から供用開始されました。

「わかさぎ公園整備事業」で、排水路工と公園進入路工の整備を工期19年3月23日までとして進めて参りましたが、

2月末の出来高率が90%と、今年度の降雪量が少なかったことが影響してか、順調に進んでいる状況であります。

「電算システムの整備事業」では、合併前の16年度から業務関係即ち住民記録・税務関係等を優先して整備をし、合併後は情報関係・地域ネットワーク関係を整備してきたところでありますが、一部出先機関にかかる「光ファイバー」の敷設を残し、ほぼ整備されました。このことにより、「決裁時間の短縮・職員削減・地方分権時代」への対応策ができました。

## 暖冬により除雪費大幅減・ 上北道路の用地説明会開催 建設課関係

今年度予定しておりました事業について、10月6日から8日にかけての低気圧災害を始めての豪雨による「公共施設災害復旧事業」を含めて、事務手続きが完了した事案はすべて発注済であります。ただし、10月6日から8日にかけての低気圧による、「農地農業施設災害復旧事業」については、交付決定等の遅れから近々のうちに発注する予定

### 【議会の動き】

#### 十二月

4日	東北町議会運営委員会
4日	東北町議会全員協議会
6日	たばこ耕作振興会忘年会
8日	東北町議会定例会
8日	中国農業技術研修生送別会 (開会)
10日	上十三地区学童柔道大会
10日	東北町連合PTA研究大会
11日	東北町議会定例会 (一般質問)
12日	東北町議会定例会 (一般質問・議案審議)
13日	東北町議会定例会 (議案審議)
19日	東北町新農業振興会設立総会
21日	産業建設常任委員会
一月	
5日	新年祝賀会
6日	東北町消防団出初式
8日	船ヶ沢分場漁業用桟橋竣工安全祈願祭並びに竣工祝賀会
10日	上北町建築組合定時総会・懇親会

であります。

なお、両災害復旧事業については、繰り越し工事とすべく、今議会に繰越明許費の補正予算をご提案させて頂いておりますので、ご同意の程よろしくお願い申し上げます。

除雪対策関係であります。今年度は記録的暖冬ということとで除雪費が大幅減となっております。1月末現在の除雪費は、東北地区が約2200万円、上北地区が約730万円となっており、昨年同期の9470万円の約3分の1となっております。

先般、2月9日に上北道路の用地説明会が虫神集会所で開催され、六戸第2インター(金矢)～上北第1インター(ホクエツ)間の用地買収着手に伴う取得計画、補償等について国土交通省青森河川国道事務所から示されました。用地買収が終れば8割方工事了了といわれますが、我が町にとって長年の悲願であった、より規格の高い道路整備実現に向け、大きく前進したとらえておりますので、引き続き早期完成を目指して議会の方々と頑張つて参りたいと考えておりますので、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

配合飼料の価格上昇から経営環境の悪化が懸念

農林水産課関係

畜産関係ですが、トウモロコシを原料とする家畜用配合飼料の価格が上昇しており、1月～3月期価格は、昨年10月～12月期に比べ畜種平均でトン当たり約5500円の大幅値上がりとなっております。

特に、牛乳においては平成18年度に引き続き、19年度の計画生産は、2年連続の減産が決定されており、生産コストが増える中で、経営環境の悪化が懸念されるところであります。

葉たばこについては、作付面積で若干減少しておりますが、平成17年度に比べ、10アール当たり重量が25キログラムの増となり、1kg当たり単価は64円安かったものの町全体としての販売高は約2400万円増の4億3700万円という実績を上げました。

文部科学大臣優秀教員表彰受賞・スキー大会で中学生活躍

学務課関係

2月15日に、東北東中学校二本柳智弘教諭が、日頃の生徒指導・進路指導及び教科指導において多くの成果を挙げ、その指導力が高く認められ、本年度から創設され教諭のみならず「平成18年度文部科学大臣優秀教員表彰」を受賞されました。これを契機に、今後益々学校教育において、教育実践等に他の模範となるようにご尽力されることをご期待申し上げます。

1月25日に、町コミュニティセンターで、教育委員会表彰授与式が行われ、関係各位並びに、保護者の方々が多数参加され、文化活動及びスポーツ活動で、特に優秀な成績を収めた小学生118名、中学生114名が教育奨励賞を受賞されました。この功績は、町の文化・スポーツ振興に寄与するものであり、受賞された児童生徒には、益々の飛躍を期待するものであります。

1月12日から14日までの3日間、弘前市で開催された、青森県中学校スキー競技大会で、東北中学校は男子5名、女子2名がクロスカントリー競技フリー、同競技クラシカル及び同競技リレーで第3位に入賞するなど活躍をされました。上北中学校は、女子1名が女子アルペン競技回転、女子同競技大回転に出場され、

共に第3位に入賞されました。1月28日から1月30日までの3日間、大鰐町で開催された東北中学校スキー競技大会に東北中学校から、男子5名、女子2名、上北中学校からは、女子1名が出場されそれぞれの競技で活躍をされました。2月6日から2月9日までの3日間、長野県野沢村で開催された、全国中学校スキー大会に東北中学校から男子3名、女子1名、上北中学校から女子1名が出場され活躍されましたが入賞者はありませんでした。それぞれの競技に出場されました選手の方々に心からその健闘を讃えるものであります。

また、3月24日から3月28日までの5日間、静岡県島田市で開催される、JOCジュニアオリンピックカップ第3回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会に出場する青森県選抜チームに我が町から、上北中学校2名、東北東中学校1名、合わせて3名の選手が選抜され出場することになりました。出場されます選手の皆さんには日頃の練習の成果と実力を遺憾なく発揮され、活躍されることをご期待申し上げます。

二月

11日	東北町商工会新年会
12日	東北町森林組合山神祭
12日	姥名文雄元議員通夜
17日	東北町議会運営委員会
17日	東北町交通安全母の会設立総会
20日	小川寅悦氏旭日小綬章受章祝賀会
21日	東北町連合婦人会運動会
24日	東北町防犯指導隊設立総会
25日	東北町防犯協会設立総会
25日	東北町教育委員会表彰授与式
26～27日	県町村議会議長会理事会
1日	誘致企業懇談会
4日	東北町チャリティー素人芸能発表会
6日	上北郡町村議会議長会定例会
7日	全国市議会議長会基地協議会総会
9日	県原子力施設環境放射線等監視委員会
11日	東北町民総合体育大会(冬季大会)
13日	議会広報特別委員会
14日	東北町議会全員協議会
16日	自衛隊入隊予定者激励会及び祝賀会

東北町文化賞授与

社会教育課関係

2月24日、町コミュニティセンターに於いて、東北町文化賞、体育・スポーツ賞授与式が行われ、文化部門では長年にわたり我が町の文化の向上及び発展にご功績のあつた方々及び展覧会等で優秀な成績を収めた方々にそれぞれ文化賞1名、文化功労賞11名、文化奨励賞13名、特別奨励賞1名、合計で26名の方々に授与致しました。

冬季アジア大会で銅メダル獲得・第1回町民総合体育大会開催

スポーツ振興課関係

12月24日、京都府・都大路(みやこおおじ)で開催された青森県大会で、優勝した青森山田高校が出場し健闘されました。  
この青森山田高校には、東北町の生徒4名も選手として出場し、活躍されましたことに対して心より敬意を表するものであります。

旧小正月の伝統行事と風習展開催

歴史民俗資料館関係

2月9日、第3回特別展の「13回旧小正月の伝統行事と風習展」が当館で開催され、上北小学校の児童やハッピー保育園の園児、高齢者等、約250人の参加があり、参加者全員でもちつきや繭玉づくりを行い、終わりにハッピー保育園による苗取り、雪中田植えなどを行い昔の風習を楽しみながら、今年1年間の五穀豊穡を祈願致しました。

1月28日から、中国・長春(ちようしゆん)で開催された「冬季アジア大会」で姥沢克人選手がノルディック距離競技30kmフリーで銅メダル、40kmフリーでは、銀メダルを獲得しました。更には、2月4日まで札幌市で開催された「ノルディック世界選手権大会」に参戦され、距離複合・40kmリレー・50kmクラシカルの3種目に出場し、健闘・活躍されました。このように世界の大会等で、奮闘・活躍される姿は町の名誉と誇りであり、時代を担う子供達に大きな夢と希望を与えることと思えます。東北町出身の選手の更なる活躍とご健闘をご期待申し上げます。

2月24日、町コミュニティセンターに於いて、東北町文化賞、体育・スポーツ賞授与式が行われ、体育・スポーツ部門では、国際大会、全国大会、東北大会、県大会等で優秀な成績を収めた方々にそれぞれ、スポーツ賞に2名、優秀選手賞には個人54名と8団体98名の方々に授与致しました。  
1月28日、トレーニングセンターで女性レクリエーション大会が行われ、滝沢平分館が優勝しました。  
第1回町民総合体育大会は15チーム、総勢1100余名が参加され熱戦を続けて参りましたが2月11日で終了し逆転で旭町が総合優勝、栄町が準優勝、第一小学区が第3位となりました。  
今年度最後のスポーツ大会となりまず町民綱引き大会が2月18日にトレーニングセンターで開催され、小学校の部で小川原カイザース、一般男子は長久保農場、一般女子は乙供栄町レディースがそれぞれ優勝しました。  
各種大会に町民多数の参加を頂き、すべての大会が盛り裏に終了することができました。感謝申し上げます。

18日 東北町民綱引き大会  
18日 栄町集会所開館祝賀会  
19日 総務企画常任委員会  
20日 県町村議長会定期総会  
21日 町青年農業経営者定期総会  
22日 教育民生常任委員会  
22日 青友会定時総会  
22日 産業建設常任委員会  
23日 東北町文化賞、体育・スポーツ賞表彰授与式  
24日 新小型動力ポンプ積載車納車祝賀会  
24日 東北町郷土芸能発表会  
25日 自由民主党青森県政経セミナー  
25日 東北町議会全員協議会  
27日 東北町議会運営委員会  
1日 東北町議会福祉大会  
1日 家族経営協定合同調印式・研修会・懇親会  
2日 新町集会所完成祝賀会  
4日 東北町議会定例会  
7日 上北中北部保育研究会  
10日 総会  
11日 文化協会舞台部門芸能発表会  
12日 東北町議会定例会  
12日 東北町議会運営委員会  
13日 東北町議会定例会  
(一般質問・予算審査)

三月

18日	東北町民綱引き大会	特別委員会
18日	栄町集会所開館祝賀会	東北町議会定例会
19日	総務企画常任委員会	(予算審査特別委員会・議案審議)
20日	県町村議長会定期総会	東北町議会定例会
21日	町青年農業経営者定期総会	(議案審議)
22日	教育民生常任委員会	東北町立第一小学校卒業式
22日	青友会定時総会	東北町(旧上北町)肉用牛生産組合定時総会
22日	産業建設常任委員会	中国農業技術研修生歓迎会
23日	東北町文化賞、体育・スポーツ賞表彰授与式	東北町たばこ耕作振興会定例総会
24日	新小型動力ポンプ積載車納車祝賀会	平成19年度第1回青森県後期高齢者医療広域連合議会説明会
24日	東北町郷土芸能発表会	東北町消防功労受章祝賀会
25日	自由民主党青森県政経セミナー	東北町地方酪農青年研究連盟定例総会
25日	東北町議会全員協議会	上北郡町村議会議長会監査会
27日	東北町議会運営委員会	
1日	東北町議会福祉大会	
1日	家族経営協定合同調印式・研修会・懇親会	
2日	新町集会所完成祝賀会	
4日	東北町議会定例会	
7日	上北中北部保育研究会	
10日	総会	
11日	文化協会舞台部門芸能発表会	
12日	東北町議会定例会	
12日	東北町議会運営委員会	
13日	東北町議会定例会	



## 平成19年度一般会計予算

## 99億3千6百万円の予算を可決

対前年度比4.57%増

## ◎ 3月定例会

3月定例会は、3月7日招集され、15日までの9日間の会期で開催されました。

なお、平成19年度の一般会計予算や各特別会計予算について予算審査特別委員会（委員長、沼山 喜久男・副委員長、沼田 徳右衛門）を設置し、付託された9件が審議されました。平成19年度の予算規模は一般会計で99億3千6百万円となり前年度当初予算にくらべ4億3千4百万円（4.57%増）となっております。また、沼山喜久男委員長から本会議にその内容を報告し、慎重な審議を経て原案どおりいずれも可決されました。審議された議案は以下のとおりです。



委員長 沼山 喜久男



副委員長 沼田 徳右衛門

会計名	19年度予算(千円)	18年度予算(千円)	増減(千円)	前年比(%)
一般会計	9,936,000	9,502,000	434,000	4.57
国民健康保険事業特別会計	3,013,094	2,820,360	192,734	6.83
老人保健特別会計	1,989,122	1,950,218	38,904	1.99
介護保険特別会計	1,753,390	1,747,146	6,244	0.36
介護サービス事業特別会計	29,041	11,594	17,447	150.48
農業集落排水事業特別会計	83,526	78,278	5,248	6.70
公共下水道事業特別会計	730,553	712,226	18,327	2.57
簡易水道事業特別会計	248,662	228,620	20,042	8.77
上水道事業会計(収益的支出)	190,833	197,854	△ 7,021	△ 3.55
合計	17,974,221	17,248,296	725,925	4.21

### 3月定例会で 審議された議案

◎東北町国民保護計画について  
全会一致で可決

◎専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成18年度東北町一般会計補正予算)  
全会一致で承認

◎平成18年度東北町一般会計補正予算案  
・予算の総額に556万6千円を追加し、総額を128億1098万円とする  
全会一致で承認

◎平成18年度東北町一般会計補正予算案  
・予算の総額に42万7千円を追加し、総額を128億1140万7千円とする。  
全会一致で可決

◎平成18年度東北町国民健康保険事業特別会計補正予算案  
・予算の総額から1363万4千円を減額し、総額を29億1137万6千円とする  
全会一致で可決

◎平成18年度東北町老人保健特別会計補正予算案  
・予算の総額から3514万

2千円を減額し、総額を21億6207万5千円とする  
全会一致で可決

◎平成18年度東北町介護保険特別会計補正予算案  
・予算の総額から157万円を減額し、総額を17億6554万8千円とする  
全会一致で可決

◎平成18年度東北町介護サービス事業特別会計補正予算案  
・予算の総額から299万7千円を減額し、総額を859万7千円とする  
全会一致で可決

◎平成18年度東北町農業集落排水事業特別会計補正予算案  
・予算の総額から174万8千円を減額し、総額を7656万3千円とする  
全会一致で可決

◎平成18年度東北町公共下水道事業特別会計補正予算案  
・予算の総額に750万4千円を追加し、総額を7億3236万9千円とする  
全会一致で可決

◎平成18年度東北町簡易水道

事業特別会計補正予算案  
・予算の総額に2588万1千円を追加し、総額を2億7575万8千円とする  
全会一致で可決

◎平成19年度東北町一般会計予算案  
・予算の総額を99億3600万円と定める  
賛成多数で可決

◎平成19年度東北町国民健康保険事業特別会計予算案  
・予算の総額を30億1309万4千円と定める  
賛成多数で可決

◎平成19年度東北町老人保健特別会計予算案  
・予算の総額を19億8912万2千円と定める  
全会一致で可決

◎平成19年度東北町介護保険特別会計予算案  
・予算の総額を17億5339万円と定める  
賛成多数で可決

◎平成19年度東北町介護サービス事業特別会計予算案  
・予算の総額を2904万1千円と定める  
全会一致で可決

◎平成19年度東北町農業集落排水事業特別会計予算案  
・予算の総額を8352万6千円と定める  
全会一致で可決

◎平成19年度東北町公共下水道事業特別会計予算案  
・予算の総額を7億3055万3千円と定める  
全会一致で可決

◎平成19年度東北町簡易水道事業特別会計予算案  
・予算の総額を2億4866万2千円と定める  
全会一致で可決

◎平成19年度東北町上水道事業会計予算案  
・収益的収入及び支出の予定額を、収入1億9123万7千円、支出1億9083万3千円と定める  
全会一致で可決

◎東北町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例案  
全会一致で可決

◎東北町職員の特種勤務手当に関する条例を廃止する条例案  
全会一致で可決

◎東北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案  
全会一致で可決

◎東北町単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案  
全会一致で可決

◎東北町地域福祉基金条例の一部を改正する条例案  
全会一致で可決

◎東北町非常勤特別職の報酬

◎地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案  
全会一致で可決

◎東北町副町長定数条例案  
全会一致で可決

・東北町地域福祉基金の運用等に関し、所要の改正をするためのもの  
全会一致で可決

の一部分を変更する規約について  
全会一致で可決

19年6月30日をもって満了するので、町屋光子氏の推薦について議会の意見を得るため  
全会一致で可決

◎東北町船ヶ沢分場漁業用棧橋条例案

◎上北地方教育・福祉事務組合規約の一部を変更する規約について  
全会一致で可決

◎東北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

・東北町船ヶ沢分場漁業用棧橋に関する設置及び管理等を定めるためのもの  
全会一致で可決

◎十和田地区食肉処理事務組合規約の変更について  
全会一致で可決

・国内旅行の旅費の額を改正するためのもの  
全会一致で可決

◎東北町営共同放牧場条例の一部を改正する条例案

◎小川原湖広域水道企業団規約の変更について  
全会一致で可決

◎東北町議会委員会条例の一部を改正する条例案  
全会一致で可決

・東北町営共同放牧場条例の放牧に係る使用料の一部を改正するためのもの  
全会一致で可決

◎東北町公の施設に係る指定管理者の指定について

◎青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議について  
全会一致で可決

◎東北町議会議事規則の一部を改正する規則案  
全会一致で可決

・船ヶ沢分場漁業用棧橋・東北町アメリテイ広場・東北町総合交流拠点施設・東北町小川原湖公園施設  
全会一致で可決

◎東北町教育委員会委員の任命について  
平成19年6月2日をもって任期満了となる東北町教育委員会委員として、藤谷日支子氏を任命するため提案するもの  
全会一致で可決

◎東北町下水道条例の一部を改正する条例案

・下水の排除の制限に係る水質基準の改正をするためのもの  
全会一致で可決

◎中部上北広域事業組合規約  
全会一致で可決

◎人権擁護委員候補者の推薦について  
人権擁護委員の任期が平成



# 一般質問

## 七議員 町政を問う



乙 供 吾 一 議員

質問  
町長が社長である(株)おがわら湖への委託業務はもっと見直しができる

平成18年3月制定された町行政改革大綱の中に、第三セクターの見直しとあるが、職員、議員、臨時職員の削減の

なか、何ら見直しされていない。

現在、(株)おがわら湖へ多額の業務委託を随意契約しているようだが、これを入札で行うことや、人数の見直しをするなど、行財政改革を進めるべきと思うが答弁願います。

また、スクールバス運行業務委託料が前年比400万円ほど高くなっている理由と、入札方法を答弁願いたい。

答 弁

町長

(株)おがわら湖に業務委託している部分は、従来、町で南部縦貫あるいは育英管財に委託していたものを(株)おがわら湖にして、従業員を引き取り、給与体系や雇用環境、雇用条件など従来の委託条件に基づき引き継いでいます。そのことから効率的な運用ができ、スクールバスの空き時間を利用するなどして町民の無料バスを実現できています。

昨年4月から東北地区でも無料バスを運行した結果、利用率が高く、3月末で5万人を超える見込みであり、予想し得なかった数字だと思っております。ただ東北地区は面積が広く、燃料費、その他の

負担により400万円ほど増額にさせていただいているところであります。地域の活性化や利便性ということでご理解いただきたいと思えます。契約についてはスクールパスの金額と同じに契約をさせていただきます。

**質問一**  
**委託契約書や引継内容のわかる資料を提出してほしい**

明日から予算審査特別委員会が始まるが、委託内容がわからないと議論できない。(株)おがわら湖への業務委託料は約2億円になると思うが、内容のわかる委託契約書や、引き継いだといわれる育英管財や南部縦貫との経緯含めて資料として予算委員会にぜひ提出して欲しい。また、資料開示が必要である。そうでなければ透明性は保たれないと思うがお尋ねしたい。

**答弁**

町長

電話交換手を育英管財から3人、南部縦貫から運転業務、清掃業務、印刷業務を引き継いだということです。合併前

の15年度から契約してきており、委託金額は委託管理の部分が一部入っていますが従業員給料の部分であるので理解していただきたい。



蛭名 鉦治 議員

**質問一**  
**一般競争入札導入について町長の見解を問う**

福島、和歌山、宮崎県などで談合事件が相次いだことを受け、地方自治体の談合再発防止策を検討していた総務、国土交通両省と、埼玉県など8自治体でつくる入札契約適正化連絡会議は、2月にすべての自治体で一般競争入札を導入することを柱とした報告書を発表いたしました。

総務省は、報告書を全自治体に通知し、3月末までに地方自治法の施行令を改正する方針であり、国土交通省は、小さな市町村に向けたマニユ

アルを作成、運用面で支援をするということが新聞報道されました。

一般競争入札は全国的に見ると、市町村単位では既に47%で行われている現状です。当町では、合併後、指名競争入札に関してさまざまな発言が全国版に報道されたことも含め、この一般競争入札の導入に関し、町長の見解をお伺いいたします。

**答弁**

町長

入札契約適正化連絡会議による談合防止の報告書の要旨を県から受けております。一般入札の導入拡大については、都道府県指定都市は原則として1千万以上について一般競争入札を速やかに導入し、法整備等がおくれている部分については、1年以内に対処していただきたいという要旨であります。

私ももこれから検討することになるが、2月に通達が来たばかりであり、県の方向もまだ定かでないが、町では19年度以内に方向性を検討して法整備をし、県・他町村の動向を含めて一般競争入札導入の基準など方向性を出した

いと思っています。



岡山 粕男 議員

**質問一**  
**少子化対策として思い切った町独自の政策を積極的にすすめるべき**

私は少子化速度を抑制するために、まず第1に結婚を促進することだと思えます。我が町では唯一、結婚支援策は農業委員会を設置してある結婚相談所の開設だけであります。私は早急に結婚適齢者への支援策が急務と考えますが町長の考えをお聞かせいただきたい。

第2に乳幼児への対応ですが18年度実績から我が町では乳幼児1人あたりの医療費補助は1万八千七百八十四円ですがありません。また、出産祝い金として35万円支給されております。県内の人口7千余りの町村の例ですが、第3

子目が生まれると100万円、4子目からは10万円ずつアップしていくように町独自でやられている町村もあります。町の負担も大変と思えますが、もつと生み育てやすい思い切った施策を講ずる必要があると思うが考えを示していただきたい。

第3に安心して子供を産み育てていく環境をつくり上げていかなければならないと思えます。官公庁や大手会社には1年もの育児休暇が義務として浸透しているが、中小企業の中には全く見受けられません。当町のように企業の乏しいところでは、行政からの助成措置でもしなない限り、安心して産み育てることは大変であります。私はこの小さな町の末端から早急に少子化対策を検討すべく組織を立ち上げ、少子化戦略を組み、着手することにより結果として出てくると思えますが、町長の思い、考えを示していただきたい。

**答弁**

町長

結婚支援は現在農業委員会で相談を扱っていただいて、これまで52組結婚されている

いうことです。他町村も調査しながら、これからいろいろな機会を意を尽くしていきたいと考えています。

経済的な支援を含めて子育ての環境をつくる意味から14年度から2万円ほど保育料の負担軽減をしてみました。その結果、県内市町村で6番目に低い保育料となり、県下で一番高い82%の入園率となっています。乳幼児の医療費については0歳児から3歳児までは結果として、ほぼ全額補助していることもご理解いただきたい。対象範囲の拡大については現在厳しい状態であるが、子どもは意を尽くしてやってきたつもりであります。

育児休業について商工会を含めて調査した結果、町内に約220事業所ありますが実施しているところは17年度で2社、18年度は1社という結果がでました。本来は企業側が福利厚生のところであるべきものと思っておりますが、世の中がそういう方向に向かっているのも事実だろうと思えますので、他町村の実態や効果を調査してみたいと思えます。

指摘されたことは真剣に受け止め、これからも少子化対策に取り組んでまいりたいと思っております。

思っています。



市川俊光 議員

### 質問 国民健康保険税の減免の適用状況と活用方法を問う

国民健康保険税が高過ぎるために払うことができずに未納となり、保険証が取り上げられ、必要な医療が受けられないという事態が全国的な広がりを持って進んでおり、命を守るはずの社会保障の制度が逆に命を脅かす重大な問題となっております。

我が町の介護保険料は全国2番目に高い重い負担となっていることや、4月から旧東北地区の国保の税額をさらに引き上げたことから、我が町でも場合によっては町民の暮らしと命を追い詰めかねない状況となっております。私は社会保障の制度がそれが必要とする町民を支え助け

る制度としてまっとうに機能するように、引き続き負担の軽減を求めてまいります。それとともに、町に求めたいのは、現在既に条例などに盛り込まれている負担軽減の制度をもっと積極的に活用して、町民を助ける側として働くべきだということです。

国民健康保険税条例第15条に税額の減免について規定していますが、この国保税の減免を行った例があるか過去についてもお知らせください。

また、国保税の運営は自治事務であり、町の実情に合ったやり方で運営を思い切った創意工夫していくことが大事であると考えます。国保税条例第15条の活用を今後どのように進めていくのか、町としての考えをお聞かせください。

### 答弁

町長

国保税の15条を適用した減免については行った例はありませんが、災害に伴う町税の扱いの特別措置という形で適用した例がございます。

我が町は平成5年に冷害がありました。このときには旧上北地区では502世帯、約2千900万の減免措置を、

旧東北町も約2千400万の減免措置を講じております。最近では平成15年度に、旧上北地区7世帯、約34万の軽減負担をいたしております。15条の減免については、十分に調査・把握しながらこれからの検討課題とさせていただきたい。

### 質問一 乳幼児医療費給付事業について

①補助の対象を拡充できないか

今、格差と貧困の広がりの中で起こっている重大な問題の一つが子供の貧困です。子供たちについては未来に向かって育つ上での最低限の保障を確保していくことは、社会的な責務ではないでしょうか。

現在、町では県の乳幼児医療費助成事業の範囲で、入院については就学前まで、外来については4歳未満までを対象として、乳幼児医療費の本人負担分についての給付を実施しています。小さな子供を持つ家庭にとってはとても役立ち、助けになる、そして町が子供の健康を支える姿勢をしっかりと示すとても重要な事業だと考えます。今こうし

た事業をもっともっと重視していくべきときではないでしょうか。

石川県では各市町村により対象範囲が中学校までや就学前までなどさまざま、それぞれの町が独自に頑張っている実例もあります。

子供の命に関してセーフティーネットをどこまで広げて張っていくかという姿勢こそが問われていると思いますので我が町も乳幼児医療費給付事業の対象を拡充していく考えはないでしょうか。

### 答弁

町長

ご存じのように0歳から3歳児までは、ほぼ全額町負担という形になっております。4歳児から6歳児の外来の部分まで対象を拡充した場合、我が町の状況からしますと約1200万円の負担増になる推定はしております。

現在、健全財政を目指していろいろ意を尽くしています。ある程度の方向性が出れば対象の拡充につながるかもしれませんが、含めて検討させていただきます。含めて検討させていただきます。

②医療費を病院等で支払をしなくてもよい方式に改善できないか

現在の給付の方法は、一人窓口で本人負担を支払い、その領収書で役場の窓口申請するやり方となっております。この方法では、平日に申請手続を行うために役場まで足を運べる方とそうでない方で制度の利用のしやすさが大きく違います。また、役場から遠い場所に住む方は経費がかかり利用しないということにもなってしまうなど、役場に近い、遠いという差が生じ、そういった不合理もあります。子供を持つ親が子育てに充てる時間を割かずとも、対象となるだれもが制度を利用できるように、給付の方法を窓口払いにしないでよい現物給付方式に改めることはできないでしょうか。町民の要望としても改善を求める声が多い問題となっております。町としての改善の考えがないか、ご見解をお聞かせください。

答弁

町長

これは県で一括に受けて、県内全域で病院と連携するという取り組みが出ると町とし

てはありがたいが、県としてはまだこの問題に取り組み状況にはないと伺っております。役場に申請に来なくてもいいようにすると各町村が、ばらばらに各医療機関と業務契約をしなければやるのができません。これは大変な経費負担になり、そういう意味では難しいものがあります。ただ、地域で利用度の高い主な病院との連携については検討させていただきたい。

質問二

### 地域ミニ計画掲載の事業について

①計画をまとめるだけでなく実施時期や状況を各町内会に説明してほしい

竹内町政のもとで旧上北町だった時代から地域ミニ計画がつけられ、今では東北地区も含めて数多くのミニ計画が一つの冊子にまとめられています。これは、各町内会に対し、町が提出を求めたもので、ぜひ、まとめるだけでなく、取り組み状況や時期など提出を求めた側として、きちんと各町内会にも説明していただきたい。町内会としては町の求めに応じて提出したものがいつどのように実現する

のかと常に注目をしています。私は小川原の町内会でありませんが、町道504号線についての要望も出しております。その件の状況も含めて地域ミニ計画実施の見通しをお知らせください。

答弁

町長

まちづくりの基本ということで、地域のソフト、ハードの部分、両町合わせてミニ計画約495件ございます。現実に実行したのは、18年度で43件になる見通しです。また、県とのすりあわせによって事業の方向性が出まして、今後19年度から24年度まで6年間という長きにわたるが、総事業費として東北地区約16億円、上北地区約11億円、着実に予算措置を講じ実行していきたい。

504号線は、緊急避難道路として防衛庁の民生安定事業に適用される地域であり、既に要望活動しております。ただ、時期に関してはまだ明言できないがご理解いただきたい。

②命にかかわる問題は最優先に取り組んで欲しい

答弁

町長

ミニ計画の中には緊急性が求められるものがあります。救急車、消防自動車が入ることができない道路、危険箇所の改善などは何よりも初めに手をつけなければならぬ課題であると考えますが、町としての考え、取り組みの状況をお知らせください。

緊急車両が進入・通行できない路線などについては、順位をつけまして民生安定事業や調整交付金でやれるものについて要望しているところがあります。これは一気にはいきませんが一歩一歩その部分を解消してまいりたい。地域の声を反映してあるべく町政を担うというのが私も4役に与えられた使命だと思っておりますので、ご理解をいただきたい。

質問一

### 上北と東北の福祉センターの利用時間を統一すべきである



議員 蛭沢達也

東北地区の老人福祉センターの使用時間は月曜日から金曜日の午前9時から午後4時までになっておりますが、上北の保健福祉センターは月曜日から日曜日まで、時間も午前9時から午後9時までとなっております。利用できる日数、時間が大きく異なっております。年間の利用可能時間になおすと東北が1700時間、上北が4000時間と、倍以上の開きがあります。

また、上北地区は土曜日でも町民バスが運行され、さらに2便も運行されている。そういうことから公共サービスの開きが非常に大きすぎる。公平な観点からも利用時間や利用体制に関して4月1日から統合すべきであると思いが、



時期を含めて町長に明快な答弁をお願いいたします。

答弁

町長

実は合併したときに料金体制が、65歳以上は旧上北町が無料でした。ところが、旧東北地区は70歳以上を無料、町外の人は100円となっていました。この料金についてはすべて旧上北地区の料金の低いところに合わせて既に実行してまいりました。

おっしゃるように、日数や時間に差があるということは担当からもお話を聞いていました。特に東北地区の町民パスの利用する頻度というのは大変高くて、福祉センターの風呂にも争って入らなければいけないということもあって、今見直そうとしていっているわけです。

時期を明示していただきたいということですが、これは予算措置を講じないとできません。早ければ6月の議会に一部提案するかもしれませんが、大体9月までに一部調整をさせていただきたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。



議員 蛭沢正雄

質問一

痛みを伴う財政改革について

東京、愛知、千葉の3都県では市町村を含め財政状況が改善しているのに対し、それ以外の44道府県と市町村は収支が硬直化し、自治体財政の二極化が浮き彫りになった。そして、赤字自治体が前年より2団体ふえて、28あった。本県では黒石市、むつ市、深浦町、野辺地町です。もし将来、東北町がこれに該当するようであれば、大変な思いです。

我が町はどうでしょうか。平成19年度東北町一般会計予算は99億3千600万円ですが、地方債(借金)の総額が平成19年度見込みは143億7136万3千円で、平成17年度現在高から4億9681万5千円ほど増額の見込みになっております。

町長は、合併時から職員の新採用を5年間はしない、四役の報酬の減額、職員の手当等の減額及び廃止、臨時職員雇用廃止と、介護保険料の増額、国保税の統一で東北町地区が増額、そのほか今年度は東北地区の生涯学習センター等々の委託費の減額、各種団体の補助金減額等々、もろもろの節減と痛みを伴う財政改革を実施してきました。町民は合併すると町が裕福になると思っていたが、現実には「予算がない」が合い言葉となり、痛みばかりを感じ、合併してよかったと感じていないと思います。

そこで、町長、公債費が年々増加をたどっている状況から、町民が痛みをどこまで我慢すればよいのか、その見通しと財政再建団体になる恐れがないか問う。

また、私の思いと同志の思いですが、この不況と町民の痛みを思えば、町民に少しでも我が同志の心を理解していただくため、また、町の宝である子供たちのためにも少子化対策及び青少年の教育、健全育成の役に立つためならば、町全体の予算から見れば少額ですが、議員報酬を下げてもよいと考えております。

議員報酬の件についてもお話が出ました。大変ありがたなお話だと思っております。そここのところは議員各自の判断があると思いますので、

答弁

町長

痛みを伴う財政改革をやらなければいけなかった大きな要因は、地方交付税がピークの平成11年から見ると約9億円減っていることで、15年度と比較しても、5億6400万円減っています。また、後世に負担を残してはならないという思いから財政改革を進めてきたところであります。痛みの部分を含めて努力した結果、合併時が8億あった基金が現在8億7700万円になり、基金残高は増えております。財政をしつかり確立していくのが、痛みに対する責任であると考えております。

ただ、痛みを伴いながらも活力を保って生きていかなければならないと考え、いろんな補助金を活用しながら、町民パスの運行や子供の学力向上や読書の推進、保育料の軽減などに予算配分し、少しでも合併してよかつたなと思えるように意を注いでいるところであります。

議員報酬の件についてもお話が出ました。大変ありがたなお話だと思っております。そここのところは議員各自の判断があると思いますので、

よろしく願います。



議員 山端伸憲

質問一

我が町の少子化対策の取り組みについて

低下し続ける子供の出生数などから、平成6年よりエンゼルプランが策定し、保育サービスの充実が図られました。さらに、雇用・母子保健相談

教育の充実を図った新エンゼルプランが平成12年より推進され、平成16年の子供子育て応援プランへと多様な政策の裏で、国保税や介護保険税の負担増、定率減税の半減、廃止と、度重なる増税がおこなわれ、さらに1次産業の収入の減少、それらを取り巻く商工業の不振から、一般家庭の生活は圧迫されています。その中で子供1人を育てるのに1千万かかるとも言われているご時世ですので、2人、3人と生み育てるのは厳しいと

だれしも思うでしょう。そこで我が町の少子化対策としての取り組みについて伺います。

また、市川議員の質問でもありました乳幼児医療給付費の直接給付について、十和田市などでは医師会と連携して既に行っております。我が町での独自の取り組みが県内のほかの自治体より遅れているのはなぜでしょうか。やれるとすれば、時期を明示していただきたい。

答弁

町長

明らかに都市部と地方の格差、それから、地方と地方との格差が現実に出てきており、町内外にもなかなか雇用の場がないのも現実で我が町を取り囲む経済環境も大変厳しいと思っております。真剣に将来の子供たちの健全育成を含めて産み育て、そして育成する環境がいかに大事であるということも認識しております。改めて、各関係課とも相談しながら対策を進めたい。

乳幼児の医療費については、一自治体で各医療機関とそれぞれ契約するのは不可能に近いだろうと思います。利用度の高い医療機関について、今

年度いろいろな形で検討させ、もし、やることになるとしても、早く20年度からと思っております。

質問一  
**「宝沼」小川原湖を守るため地域再生法を活用すべき**

「宝沼」とも呼ばれている小川原湖畔の污水处理施設の整備が滞り、生活排水が垂れ流しになっている現状を少しでも改善できるよう努めたいと思います。質問します。

昨年度の東北地方整備局の予算概要によりますと、地域再生法を活用した交付金は、七戸町では1億6千万、六ヶ所村では2億4千万となっております。また、青森県全体でみると9件の申請がなされ、15億の予算配分がなされている中、なぜ我が町は活用しないのでしょうか。

現在の公共下水道を一時凍結してでも浄化槽の整備を推進する意思はあるのか。この小川原湖に対し、町長の展望も踏まえてご答弁願います。

答弁

町長

思いは同じであり、小川原湖の環境保全、漁業資源を含めてどうすればいいのか私もずっと思いをはせてきたし、予算措置を講じながらいろいろと意を尽くしてきたところであります。

小川原湖の環境保全、漁業資源を含めた污水处理に係る整備について、江渡先生の紹介により、助役を筆頭に担当課を内閣府に派遣をいたしました。もちろん、江渡先生が入っているいろいろな配慮をしていただき、県の対応も内閣府の対応も大変心強く感じています。また、町道、農道、林道のところにも再生法を適用させたいということでも準備をしているところであり、今後とも国から認可を受けたいという思いで意を尽くしてまいりたい。



各種委員会及び協議会の活動

★総務企画常任委員会

開催日	2月19日
事件(内容)	3月議会提出案件(補正予算案、単行議案)の概要について 平成19年度主要事業に関することについて その他

★教育民生常任委員会

開催日	2月22日
事件(内容)	3月補正予算案の概要について 平成19年度主要事業の概要について その他

★産業建設常任委員会

開催日	事件(内容)
12月21日	資源循環型農業総合センター(長いも洗淨選別貯蔵施設)建設計画について 長いも関連施設視察(JAとうほく天間農協) その他
2月23日	陳情23号 向旗屋生活道路舗装に関する陳情について 平成18年度主要事業進捗状況について 平成18年度3月補正予算案の概要について 平成19年度当初予算案について 平成19年度主要事業の概要について その他

★全員協議会

開催日	事件(内容)
2月14日	東北町行政改革大綱の進捗状況について その他
2月27日	平成19年度当初予算案について その他

★議会運営委員会

開催日	事件(内容)
1月17日	地方自治法の一部改正に伴う町議会会議規則・同委員会条例等の改正について(議会制度の充実に関する地方自治法改正要旨) 同上改正案の提案者及び一括議題、一括採決について その他
3月1日	3月定例会付議事件の概要について 一般質問の通告について 請願、陳情等受理状況について 議員発議の提出議案等について 請願・陳情等の取り扱いについて 議会終了後の懇親会について その他
3月12日	陳情書の取り扱いについて その他

★議会広報特別委員会

開催日	事件(内容)
2月13日	議会だより第7号の編集について その他

# 委員会 報告

## ○総務企画 常任委員会

(2月19日開催)

委員長 沼田 徳右衛門



副町長を定数1名で提案・会計管理者は収入役が継続

まず、総務課では、地方自治法の一部改正に伴う副町長及び会計管理者について質疑があり、副町長については町長の権限の一部を委任できる

が、現段階では特別な委任項目は考えていない。また、将来2名になることはあり得るかの質疑に対し、制度的には可能であるが、今回は定数1名で提案するとの回答でありました。収入役に代わる会計管理者については、残任期間中は収入役として継続するとの回答でした。また、町職員の旅費等に一部改正で、町職員と合意があったのかとの質疑に対して、了解を得て進めているとの回答でした。また、国民保護計画については、町民の日常生活が制限されるのではないかと質疑があり、町民に対する制約はほとんどないとの回答でした。

次に、財政課では、議場の音響設備の改修工事について質疑があり、修理するにしても部品がない状態なので、合併補助金を活用し、今回改修するとの回答でした。次に、企画課では、電算システム等統合整備事業のテレビ電話についての利用状況について質疑があり、定着していないのが現状であり、広報等で利用を奨励していきたいとの回答でした。また、つながらない事もあり、お金をかけている割にはどうなのかという疑問の意見が述べられた。また、合併補助金を活用し、購入予定の図書配布車について質疑があり、図書館専用移動図書用とするとの回答でした。

次に、税務課では、税の未納者の状況についての質疑では、未納者をランク付けし、差し押さえ・分納・不納欠損で対応している。どうしても払えない方については、納税相談やランク付けの調整をしていかなければと思っている。将来、インターネット公売も考えているとの回答でした。また、今東北地区の農家で、去年の暮れから倒産し、国民健康保険税を払いたくても払えない、財産があるが夜逃げまでしている野菜農家の苦しい状況が述べられ、その辺のことも勘案して、町で検討して欲しいとの意見が述べられた。また、これに関連し、減免制度の範囲を拡大して欲しい。単に徴収するというだけでなく、制度が利用できる人については行政の側から勧めるなど、いろんな努力の仕方が追求されていくべきだとか、町民の生活を守るシステムを町独自で構築していかないと、住み辛い町になってしまうとの意見が述べられた。最後に、その他の事項で、

## ○産業建設 常任委員会

(12月21日開催)

委員長 岡山 粕男



長いも洗浄選別貯蔵施設建設計画とJAとうほく天間農協視察について

○全体計画の概要  
1. 事業名 農業経営改善事業(ながいも洗浄選別・貯蔵施設整備事業)

- 2. 実施主体 東北町
- 3. 事業期間 19〜20年度の2カ年
- 4. 事業の内容 長いも洗浄選別施設(選別施設、貯蔵施設、洗浄選別ライン)(機械、排水施設、水源工事、製品パレット保管施設、再処理施設(残渣の水分を下げる施設)、外構工事)
- 5. 総事業費 19億9997万2千円(国・県支出金9億9998万6千円、合併特例債6億6480万円、一般財源3億3518万6千円(町負担3519万円、JA負担2億9999万6千円)
- 6. 設置場所
  - ・面積 1万1千㎡
  - ・用地費 3067万2千円
  - ・場所 現農協の集出荷センターの西側に計画
- 7. 実施目的
 

この事業は、国の補助事業(経営構造改善事業)であり、現在、県と事業計画の資料作成等について作業を進めている。この事業は担い手・認定農業者をどのように育成、確保していくかということが前提となる事業であり、今回の場合、

東北地区を受益地としていて、東北地区の担い手・認定業者を育成、確保していくためには、長いもの施設及び貯蔵施設の整備が緊急であるといつことで今回この計画の実施に向け進めている。

貯蔵については、現況、秋掘、春掘、5割5割の収穫率になっているが、これを秋7割、春3割の貯蔵能力を有する貯蔵庫を計画して、これによって解消される。

事業の目的は、栽培面積の拡大と洗浄施設の老朽化等に伴う洗浄・貯蔵能力不足による洗浄・貯蔵委託の割増料金や横持ち運賃等が大幅にかかっている、これにより農家所得が減っていることから、それを解消するため今回、この施設を計画・実施し、農家所得の向上を図ることが大きな目的となっている。

質問：財源内訳はどのようにして決まったのか。  
回答：一般財源の内訳として、町とJA負担金があるが、特に根拠はない。概ね補助残の30%程度といつことで、まだ確定していない。

質問：近隣に、これに似たような事例があるか。  
回答：旧天間林村でニンニク施設等を導入した例があり、農協が町から建ててもらおうような形にして農協が応分の負担をした例がある。六ヶ所村では村が100%のパターンが多い。

質問：運営について  
回答：管理運営については、指定管理者制度での管理運営を考えている。  
質問：この約3億は農協からの補助になるのか、寄付になるのか。  
回答：当該年度の事業費に対して30%程度の部分を一般寄付ということで考えている。負担金の受け方については、農協と町で協議しているところである。

質問：これによって、委託処理が解消されるのか。  
回答：洗浄の部分で年間2477トン委託している。このことにより洗浄料金が割高となっている。この部分は横持ち運賃も発生している。また、既存の施設能力では賄いきれなくて外部に3283トン保管を委託している。この部分においても農家の割増の負担になっ

質問：この約3億は農協からの補助になるのか、寄付になるのか。  
回答：当該年度の事業費に対して30%程度の部分を一般寄付ということで考えている。負担金の受け方については、農協と町で協議しているところである。



質問：この事業の申請時期はいつ頃になるのか。  
回答：19、20年の事業実施の予定を受けて話を進めているが、今の段階では確実に採択され、補助金が付くことになっていない。正式なものには19年度に入ってからになる。  
・その他の事項について  
甲地の町営住宅について、住宅がたつていた土地に学校が建つことにより教育財産に所管替えになることから、変わりの土地の指定を早急に計画に載せて、指定だけでも早く明白にするように取り組んで欲しい、との要望が出された。

所管事務調査

(2月23日開催)

最初に、建設課では、坂下町・乙供停車場線改良舗装工事について質疑があり、湧水

て頂きたいとの意見が述べられた。  
次に、商工観光課では、商工会の合併の見通しについて質疑があり、合併協議会の素案ができているみたいですが、協議会の設立に至っていない状況であるとの回答でした。

ことから、19年度に繰り越すと説明がありました。また、中山間事業地域総合整備事業等計画について質疑があり、地域ミニ計画など要望の出ている路線等を拾い上げ更に、土地改良事業の対象となるものを計画したとの回答でした。

次に、上下水道課では、上北地区の受益者負担金と加入促進奨励金について質疑があり、この制度については、平成20年を目途に統一するとの回答でした。

次に、農林水産課では、とも補償事業について質疑が交わされ、東北地区の転作面積が相当増え、転作田の管理が心配されることから、管理指導を徹底されたいとの意見が述べられた。また、肉用繁殖雌牛導入事業について質疑が出された。町側からは、できるだけ自力で保留する形を取

最後に、町が計画している長いも洗浄選別施設の先進地実施に向け進めることにしました。



○教育民生

常任委員会

(2月22日開催)

委員長 佐々木 スミヨ



所管事務調査

最初に、福祉課では、介護料金を下げてもらうことが一番安心だとの意見に対して、基金を計画的に積み立てし、基金を安定的に積み立てし、基盤を安定させることが大事です。このことよって将来は、500円程度下げられると試算しているとの回答でした。また、東北町地域福祉基金条例の一部改正について質疑があり、現行の基金条例は預金利息を運用していくものであり、これを今後、基金を活用して地域福祉計画に沿った事業を実施するため、改正するものであるとの回答でした。

後期高齢者医療広域連合について質疑が交わされた。次に、保健衛生課では、町の出生率について質疑があり、平成13年度184名、平成14年度161名、平成15年度151名、平成16年度162名、平成17年度127名、平成18年度139名出生しているとの回答でした。また、老人福祉センター(東北地区)の改修工事について質疑があり、改修に係る補助制度がないこと、また、大規模改修でない場合併特例債が使えないなど、事業実施に至った経緯が説明された。

次に、学務課では、外国語指導助手の渡航負担金及びスクールバス管理費について質疑が交わされた。また、準要保護児童生徒就学援助事業に関連して、給食費の未納の状況に質疑があり、遅れがちな人はあるが、未納はないとの回答でした。また、姥沢小学校前の信号機の設置については、上申中であるとの回答でした。また、奨学金制度について質疑があり、現在基金は2千7百万ほどあり、現在9名の申込があるとの回答でした。

次に、社会教育課では、歴史民俗資料館及び日本中央の碑保存館の入館者数について質疑があり、それぞれ1月まで1829人、1679人であるとの回答でした。また、実年式について質疑があり、いろいろ反省点も出ていますが、基本的には18年度と同様です。参加していただくための方策を検討しているとの回答でした。次に、中央公民館では、各集落の集会所の修繕について質疑があり、事業費の6分の1を助成しているとの回答でした。また、東北地区分館活動費補助金について19年度、各分館の協力を得て195万円削減することができた。以後、3カ年に渡り削減し、平成21年度に経常経費も含め見直しをする計画であるとの説明がありました。

次に、スポーツ振興課では、わかさぎマラソン大会費について質疑があり、年々参加者が増え、昨年は1300人の参加があった。経費の主なものは、種目別(18種目)のゼッケン作成、集計・記録に係るものであるとの回答でした。また、綱引き大会等において参加者に偏りが見られる、もっと普及する必要があるのではとの意見が述べられ、このことについては確かに、合併前から引続き開催している大会にその傾向が出ています。大会を重ねることにより改善されるものと考えているとの回答でした。

- ◎全国町村議会議長会から
  - ☆議員在職十五年表彰
    - 沼山 喜久男
    - 佐々木 スミヨ
- ◎青森県町村議会議長会から
  - ☆議員在職三十九年表彰
    - 榎館 長吉
  - ☆議員在職二十七年表彰
    - 山田 己之吉
    - 和田 孫兵衛
    - 蓬畑 金介
  - ☆議員在職十九年表彰
    - 濱田 竹美
    - 榎崎 喜美男
    - 阿部 博光
    - 笹倉 健
    - 桜井 健作

自治功労で表彰



この度、長年の議員活動の功績に対し全国町村議会議長会及び、青森県町村議会議長会より自治功労賞が贈られました。心から祝福を申し上げます。

今月は議会だより第8号をお届けします。本号は3月定例会の審議内容を編集しましたが内容の一部を要約しておりますことをご了承ください。編集委員会では町民の皆様

- 議長 榎館 長吉
- 委員長 笹倉 健
- 副委員長 姥沢 正雄
- 委員 佐々木 スミヨ
- 委員 沼田 徳右衛門
- 委員 森川 盛人
- 委員 岡山 粕男